

〔学部企画報告〕 リービ先生に関する映画 『異境の中の故郷』上映会

(出版者 / Publisher)

法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

異文化 / 異文化

(巻 / Volume)

16

(開始ページ / Start Page)

156

(終了ページ / End Page)

157

(発行年 / Year)

2015-04

[学部企画報告]

リービ先生に関する映画 『異境の中の故郷』 上映会

執行部

2013 年末、本学部教授であるリービ英雄先生を主題とする映画、『異境の中の故郷－作家リービ英雄 52 年ぶりの台中再訪』（大川景子監督）が完成した。この映画は、少年時代を台湾の台中で過ごしたリービ先生が、半世紀ぶりに現地を再訪して、その足跡や記憶をたどる内容。多民族・多文化・多言語が重層的に織りなす台湾を舞台に、インターカルチュラルな色彩にあふれた本映画を上映することは、同様のコンセプトを掲げる本学部の研究・教育にとっても意義深いであろう。入試期間が始まる慌ただしい時期ではあったが、学部執行部から提起し、執行部主導で急遽開催に至った。

当日は、本学部の専任教員 10 名をはじめ、学内外合わせて 80 人程度の参加を得て、会場がほぼ満席となった。人間にとっての故郷や記憶の本質に迫る映像や、その後の関係者による語りのおかげで、会場との間で夜遅くまで盛んなやり取りが交わされた。

主催者以外の学部教員の参加がない「学部企画」が少なくないなか、これだけ多くの学部専任教員が顔を揃えたのも画期的なことで、翌 2014 年度から始まる FIC オープンセミナーにもつながる、意義あるイベントとなった。

-
- 日時：2014年2月3日（月） 18:30 ～ 21:00
 - 場所：ボアソナードタワー 0300教室
 - 内容：①ドキュメンタリー映画『異境の中の故郷ー作家リービ英雄
52年ぶりの台中再訪』上映（52分）
 - ②関係者（敬称略）による座談会
 - ・リービ英雄
 - ・大川景子（本映画の監督）
 - ・温又柔（学部および研究科一期生の作家で、この映画にも旅の同行者として登場）
-